



ごあいさつ

群馬県テニス協会

会長 澁澤 英男

第58回関東実業団対抗テニストーナメントの群馬県開催にあたり、群馬県テニス協会として、各都県代表選手のご来県を心から歓迎申し上げます。

本県は、地元の上毛カルタに「鶴舞う形の群馬県」とあるように、鶴の形をしており自然の多い地形です。加えて、有名な温泉が多く、同・上毛カルタでは「伊香保温泉日本の名湯」と歌っています。また、1872年から開業した日本初の本格的な機械製糸の工場である「富岡製糸場」が、世界遺産に登録され多くの観光客で賑わっています。

さて、本大会は、58回を迎え歴史ある大会となりました。そして、元号が「令和」に変わっての最初の大会でもあり、意義ある大会であると思います。しかしながら、現在の社会状況・経済状況により選手への様々な負担が大きく、大会環境が大変厳しくなっていると思われまます。

群馬県テニス協会といたしましては、様々な課題を解決するために佐藤実業団部長と意見交換をし進めているわけですが、まだまだ不十分であり今後も継続して少しでも良い環境づくりに努めて参りたいと考えています。

今年度の大会が、昨年度までの成果を生かしたものとなり、本大会を勝ち抜き全国実業団大会へ出場し、関東の代表として活躍されることを祈念するものであります。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位に深く感謝と御礼を申し上げ歓迎のご挨拶といたします。